

事業所名

名護市ことばの教室にこにこ(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和8 年

1月

13日

法人（事業所）理念	基本的生活習慣を身に付け、社会性を育みます 子どもたちの優しさ思いやりの心を養います 楽しさ、面白さ、心を揺さぶれるような経験と感動体験ができるよう努めます			
支援方針	遊んで学べる療育支援 子どもの「できた！」を応援します 季節を大切にした療育支援・切れ目のない療育支援・コミュニティの形成			
営業時間	平日：8時30分～18時 土曜日：9時30分～16時(年4回程度)	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康状態の確認(検温・水分補給等) 基本的生活スキルの獲得(着替え・排泄・片付け等)		
	運動・感覚	日常の活動で粘土遊びや工作(手先の運動) 姿勢と運動、動作の向上(散歩・体操・マット運動・跳び箱等) 身体移動の能力の向上(ドッヂボール・椅子取りゲーム) 保有する感覚の総合的な活用(ダンス・ブランコ・けんけんば)		
	認知・行動	遊びを通して様々な経験を積み重ねることで多様性を身に付ける 感覚や認知の活用(パズル・パラバルーン) 時間・数・色等の概念形成(時計・製作活動) 認知・偏りへの対応(ルール遊び・SST)		
	言語 コミュニケーション	子どもの「主体性」を大事にする。拒否や否定的な態度を受け入れる。環境を整え言語での表現を促す 言語に特性がある子への対応(口の体操、シャボン玉等構音機能の向上) 指差し・身振りの活用(気持ちの表出・絵カード)		
	人間関係 社会性	集団生活の中で基本的生活習慣を身に付け、自分や身の回りの人を大切にする。「思いやりの心」「人との関わりを身に付ける」 信頼関係の構築(スキンシップ等) 一人遊びから協同遊びへの支援(鬼ごっこ・ルールのある遊び) 集団参加への支援(公園や図書館・公共施設の利用等)		
家族支援		子どもの課題や目標を把握するため、関係機関との連携、協働を積極的に行う。	移行支援	地域の活動やイベントに積極的に参加する。 社会のルールを学ぶ場を設ける。
地域支援・地域連携		学校や学童などと情報共有を行い、連携を図る。	職員の質の向上	子どもの支援に関わる研修会へ参加する。 対応の仕方の学習会や定例会のを行う。
主な行事等		季節に応じたイベント(水遊び・ハロウィンパーティー・クリスマス会) 長期休暇の屋外活動(モノレール乗車体験・映画観賞等)		